

# 日頃の遊びから

## ●ねらい

- ・身のまわりのことに関心を持ち、自分でしようとする。
- ・秋を肌で感じ、秋の自然を楽しむ。

とれるかな？

対象児 1歳児 ばら組  
作成日 令和2年11月14日  
作成者 山川真紀

皮をむぎむぎ



## ○振り返り

日々、子ども達と触れ合い、かかわっていると、面白い発見やつぶやきなどが沢山感じられます。例えば、トネリコ広場にある木の葉っぱを背伸びしてとろうとしたり、室内の棚に置いてあるものに触ってみたいという気持ちから、登ってとろうとしたり、台になるものを探して上ってとってみようとしたりする様子が見られます。届きそうで、届かない高さが子どもたちにとって魅力的なようで、届いたり、手にすることが出来た時は、「やったー！」という表情がみられます。そういう様子を遊びに発展したいと思い、子ども達とお花紙を丸めて作ったものに、葉っぱをつけて、ミカンに見立て、洗濯ばさみにつけて、みかん狩りごっこをしました。前日に年中さんがミカン狩りでみかんを収穫していたので、収穫したミカンを借りて、子ども達に、実際にみかんを見せ、木の枝になっていることや葉っぱがついていることにも気づけるように話をし、触ったり、匂いをかいだりしました。「まんまる」「葉っぱ ある」「オレンジ色」「かたい」という声が聞かれました。みかん狩りごっこでは、吊り下がったみかんを背伸びしてとったり、採ったみかんを剥いてみようとしたり、友達や保育者に「とれたー」と見せることを喜ぶ様子が見られました。その日の給食で、みかんがあり、指先を使って、皮をむく子どもの姿がみられました。

遊びや生活の中で、指先を使ったり、どうすれば～できるか？そのためには、どうすればいいのか？などと一歳児なりに考えがあり、育っています。これからも、子どもの日頃の生活と遊びの中から、発達に応じた遊びや環境作りをしていきたいと思えます。(健康な心と体・自然との関わり・生命尊重・思考力の芽生え)